

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	地域デザイン論	担当名	山口 章
授業の概要	これからの地方活性化を目的とした地域デザインを考えると、気候変動など、地球規模の課題がもたらすメガトレンドに潜むリスクとチャンスを読み、SDGsへの視点を中心に据えたビジネスプランが不可欠である。これに関する一連のキーワードを理解し、持続可能な地域活性化に有効な手法を探る。				
科目の到達目標	社会情勢の情報収集、情報活用能力を高める。 メガトレンドの読み方や経営体(企業、学校、自治体等)の持続可能性を高める手法を理解する。 SDGsゴール達成に貢献するビジネスの視点でものごとをみることができる。				
DPの観点	①判断力④協働能力⑨情報活用能力⑩論理的思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	毎回の授業のテーマについて30分程度事前に情報収集を行い、授業で課された課題についても30分程度で整理する。				
フィードバックの方法	授業担当者より課題についてのフィードバックを行う。				
単位認定の要件	課された課題について、ポートフォリオに保存すること。				
評価の方法・割合(%)	授業内活動20%、レポート80%				
履修上の注意事項	日頃より社会情勢に目を向け、新聞や様々なメディアで情報を得るよう心がけること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			地域デザインのための社会人基礎力(PROGテスト)	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
2			①ガイダンス・地域デザインとは ②地域活性化のキーワードを考える	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
3			①「サステナビリティ」とは ②国連SDGs研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
4			メガトレンドⅠ 「気候変動・地球温暖化問題」研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
5			メガトレンドⅡ 「海洋プラスチック問題」研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
6			①ESG経営・ESG投資とは ②「エシカル」消費の現状と課題	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
7			①CSR研究 ②CSRとCSVとの関係性	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
8			経営体(自治体・組織体)を持続可能にする手法研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
9			PROGテスト(9/20実施)解説会	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
10			青森活性化Ⅰ インバウンド研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
11			青森活性化Ⅱ フィールドワーク(青森のインバウンドポイントを探る)	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
12			青森活性化Ⅲ 起業・イノベーション・ビジネスチャレンジ(野村証券)	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
13			青森活性化Ⅳ ヘルスツーリズム研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
14			青森活性化Ⅴ インバウンド×ヘルスツーリズム×ビジネス研究	①. ④. ⑨. ⑩	ロイロノート
15			学習成果の発表	①. ④. ⑨. ⑩	発表内容
期末試験					

使用テキスト	随時、資料配布
参考文献 参考URL	
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働能力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--